

これまでの 子どもプラン 基本理念/基本的な考え方

資料3
平成30年10月9日
第3回 子どもプラン推進地域協議会

	第1次	第2次	第3次	第4次	引用元	第5次(素案)
基本理念	◇子ども自身のニーズを大切にする ◇家族の絆を深める ◇地域で育てる ◇自然の教育力を生かす ◇男女ともに子育てに参加する			すべての子どもが健やかに育ち、未来に向けて自ら力強い一歩を踏み出す力を身に付けることを支えるとともに、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てられる社会の実現を目指します。	子ども・子育て支援法 § 1	すべての子どもが健やかに育ち、未来に向けて自ら力強い一歩を踏み出す力を身に付けることを支えるとともに、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てられる社会、子ども・子育てを応援するまちの実現を目指します。
基本的な考え方1		子ども自身のニーズを重視する	すべての子どもたちの健やかな育ちを大切にします	社会の希望・未来である子ども自身の健やかな育ちを尊重し、保障します。		子どもの最善の利益の実現に向けた環境整備
		次世代を担う子ども自身が本来持っている生きる力、育つ力をより伸ばすことを中心に据えて、子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう子ども自身のニーズを重視した施策を展開する。	次世代を担う子どもたちのもつ生きる力。育つ力をより伸ばすことを中心に据えて、子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう子ども自身のニーズを重視した施策を展開し、すべての子どもたちの健やかな育ちを大切にします	子どもの貧困等の環境要因に左右されることなく、すべての子どもの発達を保障し、子どもの差利益が最大限に尊重されるよう、子ども自身のニーズを重視した施策を展開します。	子どもの権利条約「子どもの最善の利益」 児童福祉法 § 1、§ 2 子どもの貧困対策の推進に関する法律 § 1	
基本的な考え方2		家族の絆を深める	家庭の子育て力を高めることを支援します	家庭の教育力・子育て力を高める環境をつくれます。		妊娠・出産期からの切れ目のない支援の推進
		家庭は、子どもが親や家族との愛情による絆を形成し、人に対する基本的な信頼感や倫理観、自立心などを身に付けていく場である。この視点に立って、子育てをサポートする保育サービスや子育て相談の充実などにより子育てしやすい関k等を整備するとともに、親子や家族の絆が太く力強いものとなるよう支援を実施し、すべての家庭が安心して子育てができ、家族のふれあいを深められるよう取り組みを推進する。	家庭は、子どもが親や家庭との愛情による絆を形成し、人に対する基本的な信頼感や倫理観、自立心などを身につけていく場です。この視点に立って、子育てしやすい環境を整備するとともに、親子や家族の絆が深められるような支援を実施し、すべての家庭が安心して子育てができ、家族がふれあい、親意識が育まれるよう取り組みを推進します。	父母・保護者には子育てについての第一義的責任があり、また、家庭は教育の原点・出発点であることから、親としての成長を支援する取組みを推進し、子どもの成長に喜びと生きがいを感じながら子育てができるように、子育てしやすい環境の整備を進めます。	児童福祉法 § 2 子ども・子育て支援法 § 2、§ 3 次世代育成支援対策推進法 § 3	
基本的な考え方3		社会全体で子育てを支援する	地域社会全体で子育てを支援します	地域社会全体で支え合い、妊娠・出産期から切れ目のない子ども・子育てを支援します。		地域社会全体で支え合い
		子育ての基本は家庭にあるが、子どもたちが健やかに成長するためには、子育て家庭が安心と喜びをもって子育てにあたるように、行政はもとより地域、NPO、事業者など、社会全体がさまざまな人的・物的資源を活用し、それぞれの役割を担いながら連携と協力をもって子どもの健全な育成に関わっていくことが必要である。そこで、子育てを社会全体で支援する視点にたって取り組みを進める。	子育ての基本は家庭にありますが、子どもたちが健やかに成長するためには、子育て家庭が安心と喜びをもって子育てができるよう、地域社会全体で子育て家庭を見守り、支えていくことが必要です。そこで、家庭の力のみならず、行政の力、地域の人々やNPOなどの団体の力、民間企業の力など、地域における様々な人的・物的資源が、それぞれの役割を担いながら連携と協力をもって子どもの健全な育成に関わっていけるような施策を推進します。また、働き方を見直し、仕事と家庭生活の調和を図れる地域社会づくりが重要です。そこで、子育てを社会全体で支援する視点にたって取り組みを進めます。	父母・保護者が子育てについての責任を有していることを前提としつつ、すべての子育ての健やかな成長を実現するためには、地域社会全体で子育て家庭を見守り、支えていくことが必要です。行政や教育・保育・子育て支援施設、市民、地域団体・NPO、民間企業など、様々な主体がそれぞれの役割を担い、連携・協力して子どもの健全な育成や妊娠・出産期から子育て家庭と関わっていけるような施策を進めます。	社会保障制度改革国民会議 「妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援」	
基本的な考え方4		体験を重視する	多様な学びの場を通した体験を重視します			
		子どもたちは、さまざまな体験活動を重ねることで、生命や自然などを大切にする心、自分と異なる考えや文化を理解する姿勢を身に付けながら成長する。そこで、子どもたちが多様な体験(生活体験、自然体験、社会体験)を重ねることができるよう取り組みを進める。	子どもたちは、様々な体験活動を重ねることで、生命や自然などを大切にする心、自分と異なる考えや文化を理解する姿勢を身につけながら成長します。そこで、生活体験・自然体験・社会体験といった体験の場をはじめとした、多様な学びの場を充実させるような施策を展開します。			